
意思と幻想と力と（仮）

トリィケンスケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意思と幻想と力と（仮）

【Nコード】

N5365Z

【作者名】

トリイケンスケ

【あらすじ】

2999年に西暦は終わりを告げた。
3000年からは“公暦”が始まった。
その時世界には“WIP能力”というものがあつた。
それを使う者は“能力者”と呼んだ。
主人公は能力者を育成する学園の“無敵の生徒会長”！
親友は同じ学園の“最強の風紀委員長”！
矛盾する二人の学園生活が始まる！！

第一話 入学式と生徒会長と主人公と（前書き）

始めましての方は、始めまして！

お久しぶりの方は、お久しぶりです！

他の僕の小説を読んでくれている人は、いつもありがとうござい
ます！！

第一話 入学式と生徒会長と主人公と

—————????? (主人公) 視点—————

「あゝ、緊張する〜」

いつもは広すぎて訓練に使う時もかなりの空間が空くこの“訓練場”も、今日ばかりは満員・満席・どうもありがとう！、状態なのであった。

そう今日は“入学式”なのである。

この学園の“生徒会会長”である俺は壇上に立ち、新しく入ってきた生徒と在校生の前に立つ。

先ほどの校長先生の、能力を持った人間が果たすべき義務だの責任だの違反した場合は厳しく罰するだの。

無駄に長く、無駄にプレッシャーをかけた挨拶で場の空気は死にきている。

ココで何か明るく、ぱっとする様な挨拶をしなければ。

何が良いか、礼をする間に考える。

やはり新入生の皆さんは俺が厳しい事を言うと思っているのか、緊張感に溢れている。

それとは対照的に在學生は俺のことを知っていて、何かしてくれるのではないかと期待しているような視線を向けてくる。

効果音をつけるとしたら、新入生は『カチコチ』で、在學生は『キラキラ』である。

ええい！その視線を止める！

この空気の中で何か楽しい事を！

俺の別に灰色でもない脳細胞が超高速回転する。

「んら新入生の皆さん！入学おめでとう！生徒会会長の2年1組つちやし土屋神羅です！」

とりあえずは祝福と自己紹介。

その間にこの後の展開を考える。

「え〜。厳しい事とか辛い事！挙げれば限が無いですが！！」
ここでココに居る全員が興味を示した顔になった。
よしよし。これで準備は整った。

「楽しい事は！もつとあります！！」
ココまでは、ちょっと頑張れば他の人にもできるだろう。
しかし俺はその先に行く！

「皆さん！堅苦しいのは此処までです！！今からは、分からない事
があれば先輩や先生に聞いてください！！辛い事があれば仲間と笑
い飛ばしましょう！！」
新入生の顔が緩んできた。

よしよし！ココまでは予想どおり。

「貴方達は他の人とは違う“能力”があります！！」
そう此処は普通の学園ではない。

「そして私達はあなた方を歓迎します！！」
此処は、普通では無い“能力”を持つものを養成する学校である。

「国際W・I・P・A養成学園東京校に！！！！！」
声を張り上げて新入生に祝福の言葉をかける。

「ようこそ！！！！！！！」

そして一礼をして舞台袖に帰っていく。
大勢の拍手を受けながら。

「凄かったよ。神羅！」

俺と同等の地位に居る風紀委員会委員長で、俺の幼馴染である鳥居翔鬼しやうきが声をかけてきた。

凄かったとは、今も止んでない拍手によるものだろう。

「まあな！空気が死んでたから、盛り上げたかったんだ！」
こんな風に砕けた会話ができる、所謂親友いわけという関係である。

俺が生徒会長を務めているのは、能力者を育てる学園の東京校である。

各国にある学園の中でもトップの学園である。

俺は自分の席に帰るために、外にでるための自動ドアの前に立つ。

「じゃあ翔鬼！行こうぜ！」

親友に声をかけドアが開くのを待つ。

「おう！」

親友も俺の隣に来る。

自動ドアが開いて開けた目の前には、雲一つ無い青空が広がって

た。

彼らは同時に足を前に出し、しっかりと前を見て歩き出す。

この二人を待っていたかのような空は、しっかりと彼らを照らした。

次回

始まった物語。

彼らの歩む未来とは。

乞うご期待

第一話 入学式と生徒会長と主人公と（後書き）

感想待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5365z/>

意思と幻想と力と（仮）

2011年12月18日01時48分発行